

## 人と地域の魅力をつなぐ拠点

# 新・盛岡バスセンター

平成28年9月に営業を終了した「盛岡バスセンター」。市は土地を取得し、新・盛岡バスセンターの開業に向けて準備を進めています。これまでの取り組みと、新しい盛岡バスセンターの概要、完成までの予定などについてお知らせします。  
【問】市街地整備課まちなか整備室 ☎639-9061

## 1 開業に向けて進めています

### これまでの取り組み

市のバス交通は、これまで盛岡駅と河南地区の2カ所のバスターミナルに支えられてきました。平成28年3月に盛岡バスセンターの廃止が発表されると、市民の皆さんや商業関係者などからは、バスセンター機能の継続を求める声が市や市議会に寄せられ、市は新しいバスセンターを整備する方針を決定。老朽化した建物が解体され、空き地となった跡地を平成29年3月に取得しました。現在は、仮設の待合所や乗降所を設置し、バス交通機能を維持しています。また、開業までの間、周辺地域のにぎわいを維持しようと、地域の商店街などで構成する「バスセンターおよび周辺地区活性化協議会」が跡地の一部を市から借り受けています。「SIDE-Bプロジェクト」と銘打ち、跡地を活用してさまざまなイベントを開催するなど、まちの活性化に取り組んでいます。

### 開業に向けて

市は、令和3年度中の新・盛岡バスセンター開業を目指し、平成30年9月に「(仮称)新盛岡バスセンター整備事業基本方針」を、令和元年6月には「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画」を策定しました。これらの計画などに基づき、市の第三セクターである(株)盛岡地域交流センターが市の代理人として、市と連携しながら事業を進めています。

### 表 今後の予定

期日	内容
～令和2年3月	・設計・施工に関する提案の募集、事業者を選定 ・テナントを選定
令和2年4月～	・整備計画の公表 ・設計、工事着工
令和3年度中	・開業

※具体的な開業の時期は、改めてお知らせします

### 市長コラム

盛岡市長 谷藤 裕明

新しいバスセンターが位置する河南地区は、住み・働き・遊び・学ぶ人々の拠点として発展してきました。しかし近年は、旧バスセンターとNanakがなくなり、不安を抱く方も多いかと思います。

一方で、変化のリスクは新たな挑戦に向けての絶好のチャンスです！ この変化の中で、新バスセンター整備事業は、公共交通のターミナル機能充実とにぎわい創出を公民連携で実現させ、中心市街地及び河南地区の価値向上を目指します。

まもなく工事が着工されます。市民の皆さんには、残りの期間も引き続き、SIDE-Bで開催されるイベントなどを楽しんでもらいたいですね。



## 3 私たち、期待しています

4月からは、施設整備の具体的な計画が公表され、いよいよ工事が始まります。バスに乗るために盛岡バスセンターを利用する人はもちろん、たくさんの人が新しい盛岡バスセンターに関心を寄せています。旧・盛岡バスセンターの営業終了を見届け、跡地を見守り、そして新・盛岡バスセンターの開業を心待ちにしている3人から話を聞きました。



盛岡バスセンターおよび周辺地区活性化協議会 豊岡卓司 会長

### 盛り上がりを市域全体に

バスセンター営業終了の話聞いたとき、県内のバス交通を担ってきたあの場所を、ただの空き地にしてはダメだと強く思いました。そんな思いのもと、平成29年5月に周辺の商店街と地元のまちづくり団体とで組織を立ち上げ、バスセンターが再整備されるまでの間、市から跡地を借り受けました。この跡地を「SIDE-B」と名付け、さまざまなイベントなどに活用することで、人が集い、街のにぎわいを保つよう取り組んできました。新しいバスセンターを中心に、多くの人がこの一帯を行き交い、河南地区から街の盛り上がりの波が市全体に広がっていくことを大いに期待しています。



盛岡バスセンター跡地「SIDE-B」

### にぎわいのある楽しい街に



肴町商店街振興組合 大澤克弘 理事事務局長

県内の交通の中心ともいえる盛岡バスセンターは、開業当時から沿岸部などからの買い物客も集まり、肴町商店街はその受け皿となってきました。しかし営業終了後は「滞在する場所」から「通過点」になってしまい、商店街を行き交う人の流れも1割ほど減少しています。「Nanak」の閉店も重なり、かなりの影響を受けています。組合では、ここを訪れた人が少しでも快適に買い物ができるよう、アーケード内にベンチや買い物カートを置いたり、トイレだけの利用ができる店舗を増やすなど工夫を重ねてきました。新しいバスセンターは、バスターミナル機能に加え、さまざまなテナントの出店も予定されていて、ここを目的を訪れる人も増えることでしょう。肴町商店街だけでなく河南地域一帯が、にぎわいのある楽しい街になることを非常に期待しています。

### 行くのが楽しみになる場所に



県立大3年 富澤南さん (三本柳5)

小さい頃から、母に連れられてバスで出掛け、盛岡バスセンターを利用していました。高校生になってからは、毎日、乗り継ぎのために待合室を利用し、バス待ちをしているおばあちゃんと世間話をするのも。盛岡バスセンターは私にとってなじみのある、当たり前風景の一つでした。その「当たり前」がなくなると知ったときはとても驚き、寂しい気持ちになったことを覚えています。今も大学への往復でバスを利用していますが、車内から「SIDE-B」を眺めながら通学していると、新しいバスセンターの完成が本当に待ち遠しいです。新しいバスセンターは、バスの乗り継ぎだけでなく、お店やイベントなどがあって、行くのが楽しみな場所になってほしいです。

## 2 このような施設になります

新・盛岡バスセンターを整備するために、昨年5月に「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画案」へのパブリックコメントを実施したところ、「高齢者や障がいのある人にも利用しやすい施設にしてほしい」「盛岡の魅力を発信し、観光拠点となる施設にしてほしい」など、144件の意見が寄せられました。これらの意見を踏まえ、これまでの交通拠点としての歴史や地域での結びつきを生かし、さらに多くの人が集い、まちのにぎわいを作る役割を担い、中心市街地の活性化に結び付くような施設にします。

### バスターミナル機能

- ・行き先や発着時間などの案内表示を分かりやすくします。
- ・バスターミナル全体に大屋根を架け、天候を気にせずに誰もが快適に利用できる施設にします。

### にぎわい機能

- ・商業施設や飲食店、宿泊・温浴施設、子育て支援施設を整備し、地域のにぎわいを作り、周辺に住む人の暮らしを豊かにします。
- ・遠くから訪れる人も、ここを拠点に周辺地域を歩いて楽しめます。



## 盛岡バスセンターの歴史

盛岡バスセンターは、昭和35年4月20日に、自動車ターミナル法を適用した全国初のバスターミナルとしてスタートしました。バス会社6社が出資した(株)盛岡バスセンターによって建てられ、開業当時は1日150台のバスが発着していました(営業終了時は、約200台)。2階建ての建物には、待合室や乗車券販売所の他、飲食店や理容室、売店などが入り、屋上には遊園地が併設されていま

た。また昭和41年には3階部分が増築され、デパートのような商業機能を備えた盛岡バスセンターは、市民をはじめ多くの利用者の憩いの場としても親しまれ、中心市街地のにぎわい創出に大きく貢献してきました。施設の老朽化などのため、運営会社により建て替えも検討されましたが、建設から57年を迎えた平成28年9月に、惜しまれながらも営業を終了し、建物は解体されました。



開業当時の盛岡バスセンター(上)とその周辺

## 2つのバスターミナル そのメリット

全国的には、駅に隣接した場所にバスターミナルを設置することが多いなかで、本市では盛岡駅と河南地区の2カ所に配置し、バス交通機能を維持してきました。その特長は次のとおりです。  
▶バスターミナルに挟まれた中心市街地のバス運行数が多い。利便性が高く、中心市街地の活性化に結び付く  
▶どちらか最寄りのバスターミナルに行けば、沿岸部や県外行きの長距離バスを利用できる

